

## ボツワナ共和国月報(2019年12月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- ボツワナ鉄道の脱線事故
- コシ前DIS局長に対する逮捕状の撤回
- カーマ前大統領によるブレア元英国首相夫人の独立調査チームへの抜擢

#### 【外政】

- アウグスト・アンゴラ外務大臣のボツワナ訪問
- コリンドレス・ニカラグア外務大臣のボツワナ訪問
- マシシ大統領のACPサミット参加

#### 【経済】

- チョベ地区のアナログ放送からデジタル放送への切替
- カタール航空便のドーハ・ボツワナ間の運航開始

※当地メディア記事等を任意に引用した内容です。

#### 【内政】

##### ○ 死刑の執行

ボツワナ警察の発表によると、2日、ハボロネ中央刑務所においてコシボディバ死刑囚の死刑が執行された。同死刑囚は2012年2月に従業員であったマコベラ氏の殺害について有罪となり、死刑判決が下されていた。(3日:デイリー・ニュース紙)

##### ○ 総選挙に係る不正申立て

ボツワナは1965年以来、何の問題もなく、継続して自由で公平な選挙を実施してきたことで敬意を表されており、アフリカで最も長い民主主義だと言われている。13の国民議会の小選挙区及び16の地方選挙区の結果に異議が申し立てられており、ボツワナは初めて不確かな状態に陥っている。裁判所は、選挙が実施された日から90日以内に結論を出さなければいけないことになっている。現在BDPは9議席多い状態であるが、もしUDCが裁判で勝利すれば、与党が過半数を失う数である。著名なウヤポ・ンダディ(Uyapo Ndadi)弁護士は、もし裁判所が不正があったという判決をくだせば、民主主義にとっては痛手であり、もし不正がなければボツワナが既に獲得している信頼をさらに強化することになるだろうと述べた。(7日:ウイークエンド・ポスト紙)

##### ○ 南アフリカの犯罪捜査会社が選挙のやり直しを要求

ポール・オサリバン犯罪調査官は、「私からボコ党首へのアドバイスは、選挙に対する独立した検査が必要ということであり、それは緊急に実施されなければならない。もし我々の報告結果が検査によりお墨付きを受けたならば、選挙の結果は無効にされるべきであり、選挙の不正に関与し

たことでBDPの指導部の犯罪に対する訴訟を提出すべきである。」と述べた。一方で、ボコUDC党首は「不正はボツワナ全土で行われた。国の南部にある特定の選挙区をターゲットにしたという特徴が見受けられた。我々が勝利した選挙区においても、不正や不規則性が存在したにも関わらず(我々が)勝利することができた。何年もの間BDPが継続的に敗戦してきた地域において、突然得票差が7,000票にもなった(当館注:7,000票もの得票差でBDPが勝利したという意味と思われる)。それはおかしな結果であり、野党が過半数以上の地方議会議席数を確保していた場所さえ、BDPが突然大きな得票差で全て勝利した。何か決定的におかしなことがここにある。」と述べた。また、同調査官は「我々が見つけた結果を基に、南アフリカ政府に通達し、既に会合も行った。南アフリカの隣国が不当な政府によって運営されているという事実を知ってもらうために、資料を南アフリカ政府に提出した。」と明らかにした。(7日:ウイークエンド・ポスト紙)

#### ○ マシシ大統領はボコUDC党首・カーマ前大統領の強力な国際コネクションに直面

マシシ大統領はUDC及びボツワナ愛国戦線党(BPF)による選挙不正の申し立てに直面しつつ、ボコUDC党首・カーマ前大統領の強力な国際的人脈にも直面している。ボツワナ及びジンバブエを手中に収めようと投機的な動きに賭けた論争の絶えない南アフリカのビジネスマンであるズネイド・モティ(Zunaid Moti)氏がUDC及びBPFによって高裁に提訴された選挙不正に係る一連の動きの見えざる手だと考えられている。モティ氏を国際的指名手配から救済するために、モティ氏によって雇われたオサリバン氏は、先週、ボコ党首、ブタレBPF党首と共に、南アフリカのSABCスタジオから国際社会に対して声明を発表し、ボツワナの不当な政府に対抗するために南アフリカの多数の指導者に働きかけたと明らかにした。彼の捜査報告書によると、彼は2019年10月23日の選挙の前にBDPに有利になるような不正の企みがあったと助言を受けたとの由。オサリバン氏は、その席にモティ氏及びヘイン上院議員と現れた。(8日:サンデー・スタンダード紙)

#### ○ ボツワナ鉄道の脱線事故

10日、ハボロネからフランシスタウンに向かっていたボツワナ鉄道の客車がボンワピツェ川付近のパラロードとマハラペの間で脱線し、ボツワナ鉄道の職員2名が死亡し、数名の乗客が負傷した。約400名のその他の乗客は無事に避難した。脱線事故の原因については調査中である。(11日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ コシ前DIS局長に対する逮捕状の撤回

10日、コシ前情報保安局(DIS)局長に対する逮捕状が撤回され、新たな保釈条件が設定された。マタカ南地域裁判官は、同前局長に対する逮捕状を撤回し、保釈条件を1万プラの保釈金とそれぞれ1万プラの保釈金を提供する保証人2名を提出することに変更した。さらに同前局長はパスポートをブロードハースト警察署長に引き渡さなければならないが、2名の捜査官に国外への渡航の理由と期間を伝えた上で、国外への渡航が必要な際にはパスポートを使用することができる。(12日:デイリー・ニュース紙)

### ○ カーマ前大統領によるブレア元英国首相夫人の独立調査チームへの抜擢

カーマ前大統領は、トニー・ブレア元英国首相の夫人で、弁護士であり、大学講師でもあるシェリー・ブレア氏が1,000億ブラが消えたとされる事件の独立調査を率いることを明らかにした。カーマ前大統領は、ボツワナ中央銀行から消えたとされるこの資金の流用に関連付けられている。カーマ前大統領は「これらの法廷証言書は完全に偽造されたものであり、政府が犯罪に手を染めるに欠かせないもので、また彼らによって作られている情報を法廷に持って行くために欠かせないものである。」と述べた。さらに、カーマ前大統領は本件への関与がほのめかされた彼自身及びその仲間が名誉毀損で訴訟を起こすことを明らかにし、またそのような人たちが大勢いることからボツワナ政府は多大な代償を払うことになるだろうと述べた。カーマ前大統領は、数週間前に英国への公式訪問の際に個人的にブレア夫人に会った。さらに同前大統領は彼女に会っただけではなく、多くの影響力ある人物にも会ったが、名前を明かすことは出来ないとし、話の内容についても、プライバシーの問題から話すことができないと述べた。カーマ前大統領は調査チームがすぐに組織され、2か月以内に調査を開始するだろうと述べた。(14日:ウイークエンド・ポスト紙)

### ○ 国内のダム貯水率、上昇

水公社は、国内の多くのダムにおいて貯水率が上昇していると発表した。ンワネダムやボカアダムが100%の貯水率となり、レティボホダムなどの大規模ダムも貯水率が上昇している。一方で、最大のダムであるディカトンダムの貯水率は84.6%から72.7%に若干落ち込んだ。また、ハボロネダムは62.8%を維持しており、さらなる降雨がなくても22か月分の水供給が可能となっている。(18日:デイリー・ニュース紙)

### 【外交】

#### ○ ザンビア大使、スイス大使の信任状奉呈

2日、ザンビア大使及びスイス大使(駐プレトリア)はマシシ大統領に対し、信任状奉呈を行った。(3日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ アウグスト・アンゴラ外務大臣のボツワナ訪問

アウグスト・アンゴラ外務大臣はボツワナを訪問し、2日、同大臣はマシシ大統領と会談を行った。同会談の中で、マシシ大統領はSADC諸国が相互利益のために協力していく必要性を強調した。(4日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ 豪大使、チェコ大使の信任状奉呈

3日、豪大使(駐プレトリア)及びチェコ大使(駐プレトリア)はマシシ大統領に対し、信任状奉呈を行った。(6日:デイリー・ニュース紙)

### ○ コリンドレス・ニカラグア外務大臣のボツワナ訪問

コリンドレス・ニカラグア外務大臣はボツワナを訪問し、5日、マシシ大統領と会談を行った。同外務大臣によると、ボツワナ訪問の目的は両国間で協力可能な分野を検討する覚書を締結することであり、マシシ大統領に対してニカラグアに招待すること及び文化・経済分野における投資の機会を模索することである。(6日:デイリー・ニュース紙)

### ○ ベネズエラ大使他の信任状奉呈

5日、ベネズエラ大使(駐プレトリア)、モロッコ大使(駐プレトリア)及びセルビア大使(駐プレトリア)はマシシ大統領に対し、信任状奉呈を行った。(9日:デイリー・ニュース紙)

### ○ マシシ大統領のACPサミット参加

9日及び10日、マシシ大統領はケニアで開催されたアフリカ・カリブ・大洋州諸国(ACP)サミットに参加した。サミットに先立ち開催された閣僚級会合にはユニティ・ダウ外務国際協力大臣及びペギー・セラメ投資・通商産業大臣が参加した。コトヌー協定(当館注:EUとACP加盟国の間で結ばれた協定で、世界経済への統合を通じ貧困の撲滅を図ることが目的)のおかげで、ボツワナはヨーロッパに牛肉を輸出することができおり、この協定により大きな利益を享受してきた。9日、マシシ大統領は記者会見において「実のところ、(コトヌー)協定は来年の2月に失効することになる。しかし、交渉における我々の現在地を考慮すると、次の協定はすぐに準備はできないだろう。したがって、後継の協定が発効される前には移行期間があるだろう」と述べた。10日、同サミットからボツワナに帰還したマシシ大統領は記者会見を開き「ボツワナはサミットにおいて重要な発言をした。我々は変わりつつあるACPが多国間主義を標榜すべきであり、これはボツワナの外交姿勢と一致するものである。」と述べた。(9日~12日:デイリー・ニュース紙)

### ○ レツィエ3世レソト国王のボツワナ訪問

レツィエ3世レソト国王はボツワナを訪問し、11日、マシシ大統領と二国間会談を行った。(12日:デイリー・ニュース紙)

### ○ ACPサミットに関する貢献など

10日、第9回ACPサミットから帰還したマシシ大統領は記者会見を開き、本財政年度においてボツワナのACP諸国への貢献は2百万プラ(約2,000万円)であったと述べた。さらに、マシシ大統領は2009年から加盟国の負担金が減少しており、2009年には全予算の82%が確保されていたのに対し、2008年(当館注:おそらくは2018年と思われる。)には59.6%であり、非常に憂慮すべき問題だと述べた。6日~8日にかけて開催された閣僚級会合では、ダウ外務国際協力大臣が事務局長の選出に関し、重要な役割を果たした。マシシ大統領は、国連での主要な多国間問題の投票の際に、ACPの79か国が世界的な一大勢力になるということはある得ない話ではないと述べた。(13日:ボツワナ・ガーディアン紙)

## ○ フランス・アフリカ・サミットに向けた準備

マドゥ・メノン(Madhu Menon)フランス・ボツワナ・ビジネスクラブ会計担当へのインタビューによると、来年6月にフランスで開催されるフランス・アフリカ・サミットに関し、フランス・ボツワナ・ビジネスクラブは仏大使館及びビジネス・ボツワナと協力し、「1,000のアフリカ企業チャレンジ(“1000 Africa Entrepreneurs Challenge”)」で、少なくとも3~5のボツワナ企業をサミットに参加できるようにしたいと考えている。このチャレンジでは、アフリカの1,000のアフリカ企業がサミットへの参加を支援されることになっている。応募は2020年の1月31日までであり、地元の商工会であるビジネス・ボツワナを通じて行われなければならない。その後仏政府が企業を調査した上で決定する。ただし、今週水曜日(注:11日)時点で、どの企業も応募してきていない。(13日:ボツワナ・ガーディアン紙)

## ○ デイコロティ農業開発・食料安全保障大臣の中国・アフリカ・農業協力フォーラム参加

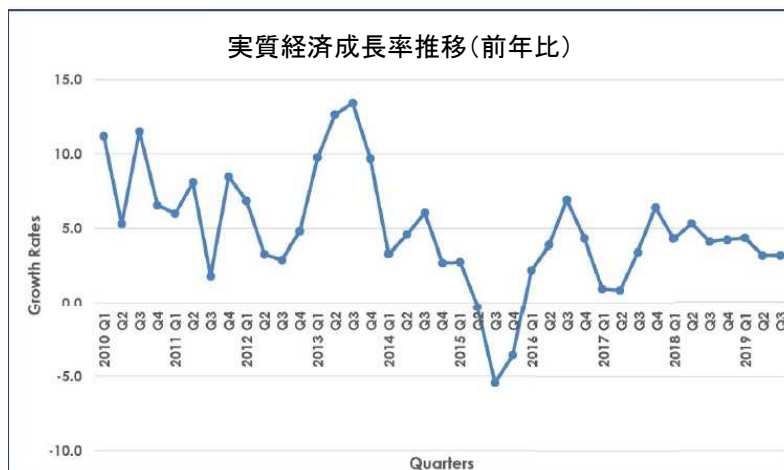
デイコロティ農業開発・食糧安全保障大臣は、初めて開催された中国・アフリカ・農業協力フォーラム(FOCAC: Forum on China Africa Cooperation in Agriculture)にボツワナを代表して参加した。FOCACはFOCACのセクター別の会合である。また、FOCACは中国とアフリカの単独的な協力関係であり、農業経済及び通商協力を考えていく使命を負っている。同大臣は「他のアフリカの国のように、ボツワナも気候変動、適応、緩和に関し共に実施していくために中国の支援を望んでいる。我々はより大きな支援、及び、グリーン・クライメイト・ファンド並びにグリーンテクノロジーへアクセスするためのパートナーシップを求めていきたい。」と述べた。(15日:サンデー・スタンダード紙)

## 【経済】

### ○ ボツワナの主要経済指標

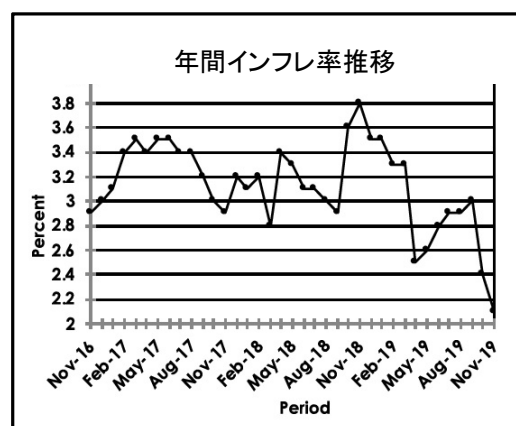
#### 1) 経済成長率(出典:ボツワナ統計局)

2019年第3四半期のGDPは495億6100万プラとなり、第2四半期(492億1160万プラ)と比べて0.7%増となった。(2018年GDP合計は1898億6850万プラ)



## 2) 年間インフレ率(出典:ボツワナ統計局)

2019年11月は2.1%(10月は2.4%)。



## 3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

2019年12月31日

1プラ=0.091米ドル

1プラ=1.283南ア・ランド

1プラ=10.04円

2019年11月28日

1プラ=0.089米ドル

1プラ=1.308南ア・ランド

1プラ=9.87円

[米ドル] 為替推移(1プラ=0米ドル)



[円] 為替推移(1プラ=0円)



## ○ ダイヤモンド産業

### 1) デビアス社の2019年最後のダイヤモンド原石販売売上, 良好な兆し

デビアス社の第10期ダイヤモンド原石販売の売上額は, 4億2500万米ドルとなった。ダイヤモンド業界は今年のほとんどの時期において中間業者における在庫多寡により, 厳しい状況に直面した。クリーバー・デビアス社CEOは, ダイヤモンド原石の安定的な需要に係る兆しがあり, 研磨済みダイヤモンド価格の安定性につながった旨発言した。(20日:メヒ紙)

## ○ ボツワナ銀行, 基本割引率・基準貸付利率を4.75%に維持

5日, ボツワナ銀行は, 金融政策委員会を開催し, インフレ率が政府目標の3~6%内となっており, 価格の安定性にかかる見通しがポジティブであることを受け, 基本割引率・基準貸付利率(当館注:従来の公定歩合)を4.75%に維持する決定を公表した。(9日:デイリー・ニュース紙)

### ○ チョベ地区のアナログ放送からデジタル放送への切替

放送サービス局のホイットウレ氏は、チョベ地域のアナログ放送からデジタル放送への切替に関し、以下のとおり述べた。チョベ地区は、アナログ放送からデジタル放送へ切り替わることで、（当館注：既に切替済みの）マウンとハンツィに仲間入りする。チョベ地区で、アナログ停波が行われた際の影響調査がJICAと放送サービス局によって、9日から13日にかけて行われた。2022年までに全国でアナログ停波を行う予定である。チョベ地区の調査後には、ツァボン地区を調査する。放送サービス局のチーム及び濱中JICA専門家は、チョベ地区で首長と会い、会議の場でデジタル移行について説明を行った。（16日：デイリー・ニュース紙）

### ○ カタール航空便のドーハ・ボツワナ間の運航開始

15日、カタール航空機が初めてセレツェ・カーマ国際空港に到着し、ツォフワネ副大統領、セホコ運輸通信大臣らが初の到着を記念する式に出席した。セホコ大臣は、ヨハネスブルグ経由のドーハ・ボツワナ間ルートは豊富な経済的な機会を得るために維持され、発展させられるべきである旨発言した。（17日：デイリー・ニュース紙）